

日本科学未来館 天文学習プログラム 学習の流れ

～季節の星座・星の位置変化・星空を観察する人々の活動～

投影時間:約35分

場面	児童の動き・活動
入場	6階の入り口から入場します。 スタッフの指示に従って着席します。
注意事項の説明	非常口等の説明をします。(緊急時には職員が対応しますが、 トイレ等への対応は先生方をお願いしております。)
お台場の日中の空	方位を確認します。 朝と正午に、どこに太陽が見えるかを確認します。
大昔の日暮れ	周りに建物の無い大昔で日の入りを迎えます。 星の明るさや色、季節の星座(夏または冬)を観察します。
約400年前の夜空	望遠鏡を使った観察について、月(半月)を例に知ります。 夜空から先程観察した季節の星座を探します。
現在のお台場の夜空	明るい街中でも見える星を探します。 星や月(満月)の位置変化を予想しながら観察します。
現代の星の観察	各時代の人と星空との関わりに注目します。 天の川の星など、宇宙望遠鏡を使った観察の画像を見ます。
月への旅	地球を飛び出し月へと向かいながら、 最新の月開発計画についての話を聞きます。
今夜の星	光学式プラネタリウム(MEGASTAR-II cosmos)で、 リアルなその日の夜空を観察します。
夜明け・退場	夜明けを迎えた後、7階の出口から退出します。 学校の先生の指示に従って退場します。

・ご希望が無い場合、4～9月の場合は「夏」の星座、10～3月の場合は「冬」の星座で学習を進めます。

・開始時刻の遅延などが生じた場合、プログラムの一部を変更させていただく場合がございます。

2026年1月更新